

都市再生整備計画 事後評価シート
浦和東部地区

平成28年3月

埼玉県さいたま市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	埼玉県	市町村名	さいたま市	地区名	浦和東部地区		面積	約324ha					
交付期間	平成22年度～平成27年度		事後評価実施時期	平成27年度		交付対象事業費	3,856百万円		国費率	0.4			
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名										
	基幹事業		地域生活基盤施設(複合公共施設(災害用拠点防災倉庫))、高質空間形成施設(美園駅西口公衆トイレ)、高次都市施設(美園駅西口階段、複合公共施設(コミュニティ施設))										
	提案事業		地域創造支援事業(複合公共施設(図書館、教育相談室))										
			事業名			削除/追加の理由				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
	当初計画から削除した事業		高次都市施設(複合公共施設(子育て支援センター))			複合公共施設の導入機能の精査により、子育て支援センターを削除				影響なし			
	新たに追加した事業		道路(美園3号線)			事業化の目処が立ったため、関連事業から基幹事業へ変更				影響なし			
		道路(国道463号バイパス・大門中野田線交差点)			事業化の目処が立ったため、基幹事業へ追加				影響なし				
		高質空間形成施設(美園駅西口駅前広場バスシェルター)			事業化の目処が立ったため、基幹事業へ追加				影響なし				
		提案事業			-				-				
交付期間の変更		当初	平成22年度～26年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		影響なし						
		変更	平成22年度～27年度										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	定住人口	人	3,482	H21	5,600	H27	5,987	○	あり	あり	土地区画整理事業等の進捗により、道路等の都市基盤整備や宅地造成に伴い住宅が供給され、当地区の定住人口は増加した。また、美園支所のほか、美園コミュニティセンター(多目的ホール、レクリエーションルーム等)、美園図書館等の複合公共施設が平成28年1月に供用開始し、行政サービスが充実したため、今後さらなる定住人口の増加が見込まれる。	
	指標2	浦和美園駅乗車人員	人/日	5,400	H20	6,850	H27	6,469	△	あり	あり	土地区画整理事業等の進捗による定住人口の増加等に伴い、浦和美園駅の乗車人員は増加したが、目標値は達成できなかった。しかし、平成28年1月に供用開始した複合公共施設への来訪や、今後も土地区画整理事業等の進捗による住宅の供給を図ることで、さらなる乗車人員の増加が見込まれるため、目標達成度は「△」とした。なお、フォローアップについては、平成28年度の乗車人員の実績とする。	平成29年8月 (H28年度実績)
指標3	駅周辺など市街地整備の満足度	%	14.6	H21	16.0	H27	19.5	○	あり	あり	国道463号バイパス・大門中野田線交差点や浦和美園駅西口駅前広場の整備により、国道463号バイパスから駅西口へのアクセス性が向上するとともに、都市計画道路美園3号線の整備により、鉄道で分断されていた東西市街地の移動が容易となったことから、市街地整備の満足度の割合が増加した。また、浦和美園駅西口では、バリアフリーに対応した公衆トイレ、西口駅前広場バスシェルターや西口階段を設置し、駅利用者の利便性が向上した。		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1	乗合バスの運行時間	分	28	H21	/	/	26	/	/	/	土地区画整理事業による浦和美園駅西口駅前広場と併せてバスシェルターを整備し、乗合バス乗降場が駅東口から西口に移設された。これにより鉄道西側方面に向かう乗合バスの運行距離が短くなり、浦和美園駅から浦和駅(東口バス乗降場)まで運行する乗合バスの運行時間は短縮した。	
	その他の数値指標2												
その他の数値指標3													
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 複合公共施設に拠点備蓄倉庫を配置するとともに、美園コミュニティセンター内の多目的ホールを災害時の帰宅困難者一時滞在施設としても活用でき、地域防災力の向上を図った。 複合公共施設は、浦和美園駅前に立地し、美園支所のほか美園コミュニティセンター(多目的ホール、レクリエーションルーム等)、美園図書館等を配置したことにより、多様な人々の交流の場となることが期待される。 												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-					
	住民参加プロセス	地元自治会へヒアリングを実施		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 地域住民による浦和美園駅西口駅前広場の植樹帯を利用した花壇活動等を行い、環境美化に取り組む。					
	持続的なまちづくり体制の構築	①「公民+学」で組織する「美園タウンマネジメント協会」の設立 ②「みその都市デザイン協議会」の設置に向けた準備会の発足		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● ①「美園タウンマネジメント協会」では、地域サービスの創出や展開を図る。 ②「みその都市デザイン協議会」を設立後、本協議会で都市デザインの計画や形成を図る。					

様式2-2 地区の概要

浦和東部地区(埼玉県さいたま市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
	指標	単位	従前値	評価	目標値	評価	従前値	評価
大目標: 様々な機能が充実した健康で快適な空間を創出するとともに、新たなコミュニティを支える都市機能を充実させる。 目標1: 浦和美園駅前における生活支援機能等の充実 目標2: 魅力ある市街地形成による人口増加 目標3: 鉄道東西の回遊性、交通移動性の向上	定住人口	単位: 人	3,482	H21	5,600	H27	5,987	H27
	浦和美園駅乗車人員	単位: 人/日	5,400	H20	6,850	H27	6,469	H26
	駅周辺など市街地整備の満足度	単位: %	14.6	H21	16.0	H27	19.5	H27



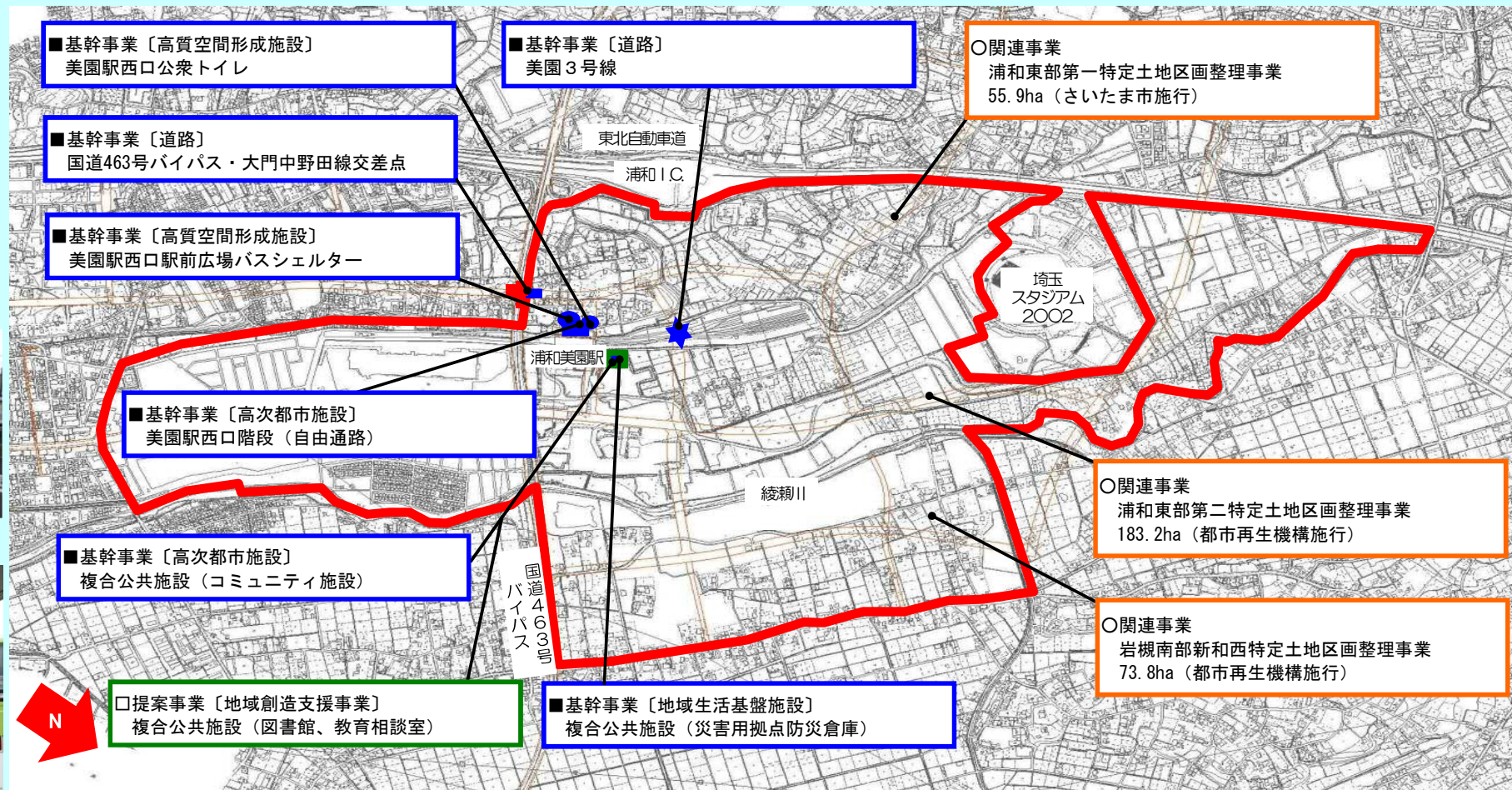
浦和美園駅西口公衆トイレ



国道463号バイパス・大門中野田線交差点



浦和美園駅西口駅前広場バスシェルター



浦和美園駅西口階段



都市計画道路美園3号線



複合公共施設

まちの課題の変化

- 浦和美園駅西口では、バリアフリーに対応した公衆トイレ、西口駅前広場バスシェルターや西口階段を設置することにより利便性が向上したとともに、駅東口では、複合公共施設の整備により行政サービスが充実した。
- 浦和美園駅西口階段や都市計画道路美園3号線を整備し、駅へのアクセスや鉄道で分断されていた東西市街地の移動が容易となり、移動負担は軽減した。
- 埼玉スタジアム2002を核としたまちづくりを進め、土地区画整理事業等による道路や公共下水道などの都市基盤を整備し、大規模商業施設や小学校等の都市機能の充実が図られた。今後も土地区画整理事業を円滑な推進により、都市基盤整備を進め、医療、教育施設等のさらなる都市機能の充実を図る必要がある。
- 事業地内への定住を促進し、住民や企業に選ばれるまちとしての魅力を図る必要がある。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- 土地区画整理事業の推進により、今後も道路や公園などの都市基盤整備を進め、医療、教育施設等の誘致を図り、都市機能を充実させ、水と緑などの自然環境と調和した街を形成する。
- 地権者・住民、民間企業、大学、市などの連携によるまちづくり推進組織である「みその都市デザイン協議会」を設置し、主に景観、賑わい、土地利用、交通の視点を軸にまちの個性と魅力が感じられる都市デザインの計画・形成を図る。
- 平成27年10月に開設した「アーバンデザインセンターみその」を拠点に、「みその都市デザイン協議会」と「美園タウンマネジメント協会」が連携して、新たな総合生活支援サービスの創出・提供、インバウンド等の交流人口増加に向けた事業の展開、良好な都市環境の形成等を図ることにより、地域ブランド力を増進する。